チーム神於山　活動報告　Vol. 2

2012.3.26
シャープ社友会
社会貢献活動委員会

■活動日時：2012年３月24日（土）　10：00～15：00
■参 加 者：８名　（全員「ＳＧＣ神於山シャープの森」の社友グリーンサポーターの皆さんです。）
■活動内容
・当初予定したペール缶を再利用した「雨水溜作り」、上部植栽地入口の「ベンチ周りの整備」、３月10日に除伐した「スギの処理」に加え、次のテーマの「自然林エリアのササの伐採」に、基地周辺から取り組みました。
・自然の恵みでは、植菌したシイタケが大豊作でした。タケノコはイノシシが食べ始めており、お楽しみはこれからです。
■次回活動日：活動可能日投票を元に2012年４月22日（日）～28日（土）の間のいずれかで決め、別途ご連絡します。奮ってご参加ください。

１．ペール缶を利用した「雨水溜作り」　これで倉庫の屋根に降った雨水を溜め、機具を洗う水を確保します。

ペール缶の位置を決め雨樋を切断。　ペール缶に雨樋を通す穴をあけてセット。次回更にドラム缶に導水する仕掛けをします。

２．上部植栽地入口の「ベンチ周りの整備」　狙いは林道を通る人の休憩所ですが今はイノシシの遊び場になっています。

・上部植栽地入口の広場のベンチを設置しなおし、林道にたまった枯れ葉と土を広場に撒いて整備作業終了。
・２台置いていたベンチの内１台は腐食が進んでいたので解体して基地に運びました。割って薪にします。
・右の写真は、整備が終わりほっと一息のメンバーの皆さんです。お疲れ様でした。

３．３月10日に除伐した「スギの処理」　これで基地にミズキやスギなどかなりの量の材のストックが出来ました。

・２本除伐したスギの内の１本のスギの幹は、そのままベンチにするため伐採場所に残し、その他は輪切りにして基地に運びました。
・基地に集めた材は、今後「個人用の切り株椅子」や「ベンチ」、「作業台」などに加工するほか林道や尾根道からの入り口に立てる看板兼用の「トーテムポール」などの素材として活用します。

4.「自然林エリアのササの伐採」スタート。　フクロウの棲む森を目指し、自然林のグランドデザインを作りましょう。

・次のテーマの「自然林エリアのササの伐採」について、手始めに基地近くからスタートしました。
・刈ると確かにすっきりしますが、反面それだけ自然の趣が損なわれる感じがするのも事実です。
・やはり全体のイメージをしっかり描いて計画的に刈りこむことが必要です。
・右の写真は今回活動に参加頂いた８名の皆さんです。お疲れ様でした。

5. 自然の恵みがいっぱい。　植菌したホダ木にシイタケがびっしり生えていました。　タケノコはこれからです。

・シイタケはもう１週間遅いと傘が開ききってしまうところで良いお土産になりました。
・タケノコは出始めで、嗅覚の鋭いイノシシがあちこちで掘り返していましたが、目で探す人間にはまだ少し早いようです。

6. サクランボの木につぼみが。　自然は着実に春に向かっています。

・メンバーの香遠さんが暗渠の斜面に植えた「サクランボ」の木がしっかり根付き、たくさんつぼみをつけています。うまく育ってくれれば今年はサクランボも少し楽しめそうです。
・このゾーンは日当たりも良く、斜面もなだらかで水はけも良いのでイノシシ対策をしっかりして、菜園にしようという声もありますが、ブルーベリーやミカンなども植え、果菜園を目指すのも良いかもしれません。

以上